

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 7年 3月 1日

事業所名 放課後等デイサービスキッズなかま (全数8)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5		3	利用者様の人数・特性に応じて、二部屋を使い分けて対応している	・狭いと感じることがある。 二部屋をもっと上手く活用することが今後の課題。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	1	2		・規程の人数にはなっているが、利用者様の状況によって、職員の人数が少ないと感じる日もある
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	3		・スロープを設けている	・スロープの傾斜が急なため、必ず二人対応で行っている ・スロープの安全点検を確認徹底している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	3			・月に1回職員全員でケースカンファレンスを行っている
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・評価表にプラスして毎年具体的な内容についてアンケートをとっている	・職員全体への結果の周知をするとともに、必要な保護者と個別に面談を行い対応している。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			・HPに掲載し、保護者へ周知している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3	3	2		・今後の方針については、法人全体で検討をしていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・月一回の研修会を開催し気づき等にもつながっている	・外部研修についても、職員に広く周知し参加できる体制を継続
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	8			・医療面、リハビリ面も踏まえたニーズ、課題を分析している	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	4			・アセスメントツールを基に対応
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		・児発管、保育士が中心で行なっている	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	12	活動プログラムが固定化しない よう工夫しているか	8			<ul style="list-style-type: none"> ・その時の利用者様の特性 や季節毎の活動を取り入れ るよう心がけている ・活動を立案するメンバーを 中心に、職員全体の意見を 取り入れている 	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、 課題をきめ細やかに設定して支 援しているか	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・長期時には通常でできない 水あそび、散歩等取り入れて いる ・長期休み時の外出支援も積 極的に取り入れていく ・季節の行事を大切にしてい る 	・長期休みの目標など事前に話 し合う機会を作り、実のある活 動につなげたい
	14	子どもの状況に応じて、個別活 動と集団活動を適宜組み合わせ て放課後等デイサービス計画を 作成しているか	8			・リハビリを含めた個別の目 標に対しての活動と、集団活 動を担当を中心におこなって いる	
	15	支援開始前には職員間で必ず 打合せをし、その日行われる支 援の内容や役割分担について確 認しているか	6	2		・送迎前にその日の送迎、活 動内容の確認を行っている	
	16	支援終了後には、職員間で必ず 打合せをし、その日行われた支 援の振り返りを行い、気付いた点 等を共有しているか	1	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・送りの時間がバラバラなた め、しっかり時間をとることは 難しいが、確認事項はその日 のうちに申し送りノート・グ ループラインを活用して確認 するようにしている 	・申し送りノート・グループライン で情報共有を行っている
	17	日々の支援に関して正しく記録 をとることを徹底し、支援の検 証・改善につなげているか	7	1			・管理者が記録内容をチェックし ている
	18	定期的にモニタリングを行い、放 課後等デイサービス計画の見直 しの必要性を判断しているか	8			・支援の状況等を保護者様と 密に連絡を取りながら、必要 時見直しを行っている	
	19	ガイドラインの総則の基本活動 を複数組み合わせる支援を行っ ているか	4	4			・ガイドライン総則について、職 員間での理解を深めていく
	20	障害児相談支援事業所のサー ビス担当者会議にその子どもの 状況に精通した最もふさわしい 者が参画しているか	8			・全体を把握している管理 者、児発管が参加	
21	学校との情報共有（年間計画・ 行事予定等の交換、子どもの下 校時刻の確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時の 連絡）を適切に行っているか	8			・申し送りノート・グループライ ンの活用		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	6	2		・医療的ケアについては、主治医に指示書を作成していただき、指示のもと行っている	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	3		・担当者会議の場で、十分な情報共有を行っている	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1			・保護者様の不安がないように、細かく相談にのっている 必要時、移行先の事業所に直接連絡できる体制をとっている
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	5			・必要なケースに関しては、直接意見を頂けるような連絡体制をとっている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	3	4	・感染状況を考慮し、行っていない	・保護者の方からの、ご希望なし
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	3	4		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・連絡ノートで状況伝達送迎時に保護者様に申し送りをしている ・メール、ライン等も利用して細やかな連絡をとれるようにしている	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3	3	・送迎時等に直接話せる時間を大切にしている	・保護者様が悩んでいるような様子を把握したときには、送迎時の声かけ、LINE等でのサポートを行っていくようにしている	
保護者 への話	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	2			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	2		・送迎時等に直接話せる時間を大切にしている	・保護者様が悩んでいるような様子を把握したときには、送迎時の声かけ、メール等でのサポートを行っていくようにしている

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	5	・アンケートにより開催希望なく、また感染状況を考慮し実施なし	・保護者様の意見等を確認しながら、対応していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8			・ご意見箱の設置、メール、LINE、メモ等、様々な方法で苦情、意見を出しやすいようにしている	・ご意見を頂いた際には迅速に対応し、職員間で情報共有ができるような対応を心がけている
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・2か月に1回、なかま通信を発行。日頃の活動の様子を保護者様に知っていただいている	
	35	個人情報に十分注意しているか	8				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		4	4		今後検討
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	8				
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8				
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	2		・保護者と連絡を密にし対応している。	
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2		・事例を事業所内で共有している(研修会時に)	・ヒヤリハット報告書を出しやすい職場環境づくりをしていく。月1回の所内研修会の時に全体の振り返りを行う	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。